

公園内で見られる 植物

写真は4月21日（土）
自然観察会で見られた
植物です



チゴユリ (ユリ科)

可憐な小型の花を稚児に見立てた。



スマレの仲間 (スマレ科)

人家付近から丘陵まで日当たりのよいところにふつうに生える。



ウグイスカグラ (スイカズラ科)

花／4～5月、枝先の葉腋に長さ1～2㍉の細い花柄をだし、淡紅色の花を1個まれに2個下向きにつける。



ツルカノコソウ (オミナエシ科)

花のあと、細い走出枝をのぼし、先端に新苗をつくる。



ミツバツツジの仲間 (ツツジ科)

花：4～5月、葉が展開する前に枝先に紅紫色の花を2～3個つける。



ツルシキミ (ミカン科)

幹の基部が地上をほうのが特徴で、葉や花、果実などはミヤマシキミとほとんど同じ。



ミヤマシキミ (ミカン科)

花／雌雄別株。4～5月、枝先に円錐花序をだし、香りのある白い花を多数つける。



ウワミズザクラ (バラ科)

花／4～5月、葉の展開後に開花する。真枝の先からのびた長さ8～15㎝の総状花序に白い花が多数密集してつく。



クロモジ (クスノキ科)

花／4月葉の展開と同時に開花する。黄緑色の小さな花が集まってつき花柄には毛がある。



トリガタハンショウヅル (キンポウゲ科)

高知県の鳥形山で発見されたつる性低木。ハンショウヅルに似るが、あまり大きくならない。